

ロンドン・ソマリア会合

武井外務大臣政務官ステートメント

2017年5月11日(木) 於:ロンドン ランカスターハウス

議長,
ご列席の皆様,

(冒頭)

ソマリアは今、転機を迎えています。この重要な時期に、今回の会合を主催されたメイ英国首相、共催者であるファルマージョ＝ソマリア大統領及びグテーレス国連事務総長のイニシアティブを高く評価します。

(国家の治安強化)

ソマリアの、治安強化と経済活性化は同時に進めていかなければなりません。

昨年、初めてアフリカで開催した第6回アフリカ開発会議(TICADVI)では、社会の安定化を柱の一つに掲げました。

我が国は、アフリカの角地域の安定には、ソマリア自身の能力向上が不可欠との認識に立ち、2007年以降、治安の強化及び人道支援・インフラ整備等の分野で総額約4億4,200万ドルの支援を実施しています。

(ソマリア海賊問題)

また、我が国はアデン湾・ソマリア沖において、自衛隊による海賊対処行動を実施しています。

ソマリア沖を含むインド太平洋という重要な海域において、自由で開かれた海洋秩序が確保され、法の支配が貫徹されることは、国際社会全体の平和と繁栄に不可欠です。我が国は、引き続き、自由で開かれたインド太平洋の実現に尽力していく考えです。

(国際的な安全の保証)

アフリカ連合ソマリア・ミッション(AMISOM)が貴い犠牲を払いつつソマリアの治安向上に果たした役割は多大であり、貢献国に深く敬意を表します。

（経済復興の加速化）

国造りは、人造りです。我が国は 2011 年以降、累計 150 名以上のソマリア人に研修を実施しており、彼らは保健、インフラ、農業、水産、テロ対策等の分野で活躍しています。また、若年層や被災民の職業訓練、雇用創出等の分野も支援しています。

加えて、現在、ソマリアを含むアフリカの角が見舞われている飢饉への対策として、本年 3 月、我が国は 2,600 万ドルの拠出を決定しました。英国や国連の指導力の下、国際社会がタイムリーに支援を開始したことを賞賛し、人道危機の一刻も早い収束を望んでいます。

（結語）

今回の会合を通じ、ソマリアと国際社会の連帯が改めて示されました。ソマリアに寄り添った支援を継続していく旨強調し、私のメッセージといたします。